

## 始めましょう 家庭で読書

### なぜ本好きな子どもは学力が高いのでしょうか

国語力はすべての科目を学んでいく上で必要になるものです。算数の文章問題を解くにも、社会や理科の授業や総合的な学習において自分の考えをまとめて発表するときも、国語力は必要になります。国語力は全ての学力の基盤となる力であり、この力を身につけるのに効果的なのが読書です。

### 『いい本』に出会うことは、『いい人』に出会うことに似ています

また、子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

本を読む子を育てるためには、小さな時から本に親しむことが大切です。感動的な一冊の本は、子どもの感性や情緒、想像力をはぐくみ、読書習慣を身につけるきっかけともなります。

#### 小学校低学年くらいまでは…

子どもたちに読書の楽しさを伝えるには、「読み聞かせ」がよいと言われています。絵本や物語はもちろん、昔話、なぞなぞ、ことば遊びの本など、多くのジャンルから本を選び、子どもの世界を広げてあげましょう。

- 子どもを膝の上に乗せて一緒に絵本を読みましょう
- 眠る時に子どもの枕元でおはなしを読み聞かせましょう
- 子どもと一緒に声を出して、ことば遊びの本を楽しみましょう
- 地域の読み聞かせイベントに子どもと一緒に参加しましょう
- 子どもと一緒に本を見ながら、料理を作ったり工作をしたりしましょう



#### 小学校中学年以上になったら…

読み物や物語の楽しさを味わったり、科学や社会の本への興味を深めたりするとよいと言われています。優しさや思いやりなどの豊かな心や、知る楽しさなどの知的な好奇心が育ってゆくでしょう。

また、周りの大人が読書を楽しむ姿を見せることも大切です。子どもと一緒に図書館や書店に行き、本を選んだりする姿を見せてあげてください。家族みんなで読書を楽しむ時間をもてるといいですね。

- 子どもと一緒に図書館や書店に出かけましょう
- 家族で「読書の時間」を設けて、その時間にそれぞれが好きな本を読みましょう
- 1冊の本をそれぞれが読み、感想を話しましょう



親子のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合うひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

「親子読書」は、子どもにとってうれしい時間の一つです。家族のふれあいを通して読書のすばらしさを次の世代に伝えていく、そんな「親子読書」を、始めてみませんか。

**一番ステキな本は、お父さんお母さんの声で読む本です。  
始めましょう！家庭で読書。**